

本時のねらい

「等分」について考え、分数の仕組みを知る。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

支援学級で複数の児童が学習する場合、課題の進捗はそれぞれである。その際、タブレットドリルを使用し、個々の課題に応じた練習問題を行うことで学習保障を行い、学習内容への理解を図る

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・タブレットドリル

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○100玉そろばんで数の概念を確認する。 ○九九カードを行う。 	
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ハサミを使い、折り紙を等分する方法を考える。 ○ちょうど半分が等分だということを知る。 ○1/2 の意味を知る。 	
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○プリントにて練習問題に取り組む。 ○タブレットドリルで練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットドリルを使って課題を行うことにより、問題を解くことから丸付けまでを個人で行うことができる。また、必要な支援を教員が児童の状況を判断して、じっくりと対応することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：課題が終わった児童からタブレットを出してドリルの準備をしている様子



写真2：個人の課題に合わせたタブレットドリルに取り組んでいる様子



写真3：問題を解いた後、答え合わせを行っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・普段からタブレットを使い慣れているので、操作面で困ることなく学習に取り組むことができていた。
- ・課題を解いて、正解したところはメダルがもらえるので、学習の進捗状況がわかると同時に、達成感を味わうことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・全ての単元の中から、苦手なことや得意なことを自分で考えて課題や難易度を選択することで、主体的に取り組むことができる。
- ・タブレットの学習はプリントを準備しなくてもできるので、必要な時に短時間で活用ができる。
- ・量やスピードなど、児童のペースで課題に取り組むことができる。